

事務事業名	学校評議員運営事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	終了
H29作成課等名	学校教育課	H29係等名	学務係	H28担当課等名	学校教育課	
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり			
	施策	22	義務教育の充実			
目的	対象(誰・何を)	市内小中学校			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どうい状態にするか)	地域の意見を取り入れ、より開かれた教育ができるようにする。			小中学校数	28
	向上させたい上位施策の成果指標	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	学校長が学校評議員の参画を求めた事業数(参加した日)		150	150	150
	成果指標	学校評議員の小・中学校に対する提言数(参加した日)		100	100	100
定性目標						
事業概要	<p>学校運営に、地域住民の意見を反映し、地域に開かれた学校づくりを行うため、学校評議員会を全小中学校へ設置し、その構成員として地域住民を学校評議員として委嘱する。これにより、地域との連携による学校運営及び学習活動の充実を図る。</p> <p>【参考】平成12年1月の学校教育法施行規則の一部改正により、地域住民の学校運営への参画の仕組みを制度的に位置づけるものとして導入。学校評議員は一つの学校につき10人以内とし教育委員会が委嘱。学校評議員の任期は1年で再任は妨げない。学校評議員は校長の求めに応じて学校運営に関し意見を述べる事ができる。</p>					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 学校評議員会の開催			1 学校評議員数		1 126人
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		208	212	210	0	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
一般財源		208	212	210		
人件費計(千円)②		0	143	143	0	
正規職員所要時間			40	40		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		208	355	353	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>学校教育・運営において、教員以外の専門的立場からの客観的な意見・助言や支援・協力が得られた。</p> <p>なお、平成28年度に飯田コミュニティスクールが導入され、市内全ての小中学校に学校運営協議会が設置された。よって同事務事業は、今年度を以って終了となる。</p>					
改革改善の考え方	①問題点	飯田らしいコミュニティスクール(学校運営協議会)の取組が進む中で、学校運営協議会の学校評価とどう整合を図るか、組織形態も含め検討する必要がある。				
	②改革提案	飯田らしいコミュニティスクールの検討の中で組織を整理する。				